

令和7年度 東京都小学校体育連盟・研究会 運営方針

東京都小学校体育連盟・研究会 理事長・会長 船山 徹

運営の基本方針

(1)これまでの80年を、これからの10年へ

○これまでの歴史と伝統及び先人の努力や工夫に学び、それらをさらに工夫・発展させてバトンをつなぐための初年度と位置付ける。

(2)考え議論する常任理事会

○参加者の不足や大会の実施形態、チャンピオンシップとフレンドリーシップの在り方など、教員スポーツの振興上の課題と改善策について議論する。

○水泳の民間委託、体育の教科担任制、区市町村体育部及び都小体研の部会における人材確保など、体育の授業実践や授業改善及び研究を推進する上での課題と改善策について議論する。

○都小体連・研の持続可能な運営形態や実施方法、運営を担う人材確保等について議論する。

➡ 議論のための時間を、毎回の常任理事会において10～15分程度設定する。(理事会がある場合を除く)

(3)パートナーシップの一層の推進

○区市町村体育部、各研究団体と互いに学び合い、共に東京都の教員スポーツ及び体育の授業研究の振興に寄与する。

○スポーツ、体育の授業研究を通して、参加する皆様のウェルビーイングの実現のために貢献する。

➡ パートナーシップを築くツールとしてのHPと会報の活用及び理事会のもち方を工夫する。

(4)感謝・敬意・誠意をもって

○80年の歴史を築き、厚いご支援をいただいている顧問・OBの皆様、NPO 法人健康・体育活性化センターをはじめ、都小体連・研が関わる各団体等の皆様※との連携にあたって、常に、感謝・敬意・誠意をもって行動する。

※：日本学校体育研究連合会、東京都教育委員会、区市町村教育委員会、区市町村体育部、各種スポーツ競技及び研究団体、小学校体育専門研修会等の皆様

東京都小学校体育連盟

○教員のスポーツの振興及び実技指導力の向上による教員自身の豊かなスポーツライフの実現を目指す。

・全種目による競技大会の再開を踏まえ、各競技大会等の運営を充実させるための工夫・改善を行う。(「創立80周年記念大会」としての実施等)

・チャンピオンシップ、フレンドリーシップ及び実技研修会等の実施状況を踏まえ、参加する皆様のニーズと運営組織の体力に合わせた、持続可能な実施形態を検討する。

・各競技大会の運営スタッフの確保と参加者及び参加地区の拡大を目指す。

東京都小学校体育研究会

○「自立した学習者としての資質・能力」を育てる体育の授業研究を充実させ、子供の「質の高い深い学び」の実現を目指す。

・子供による自己調整及び教師による学習環境のデザインの在り方、学びのサイクルを回せていない子供への教師のかかわり方、「振り返り」の充実、「自ら学び続ける力」の習得状況の検証等、令和6年度の課題に対する都小体研の考え方を、授業研究を通して明確にする。

・各領域部会の正副部長が、都小体研の研究を充実・発展させるための手立てを考え、議論することにより、都小体研の運営に参画し、自分たちの研究に責任をもち、主体的に推進していこうとする風土を醸成する。

東京都小学校体育連盟・研究会創立80周年の年に…

全常任理事の総力により、研究史の振り返りや80周年記念大会の実施をはじめ、一年間を通した80周年記念関連事業を円滑に推進すると同時に、関係の皆様へ歴史と伝統とともに、あたたかさを感じていただける式典及び祝賀会を開催する。